

わがまち サークル

No. 3

平成26年2月発行

今回は、小中学生が活躍する、「別海中
央百人一首少年団」と、書道サークル「書
の研究」をご紹介します。



現在の団員は小学一年生から四年生の九名。人数は年々減少しており、中春別から通う児童もいます。一チーム三人で戦う下の句かるたですが、練習の際は人数が足りないため、中高生のOBが手伝いに来てくれます。読み手は、白銀クラブや保護者の方々。団員は少なくとも、かるたが好きで児童ばかりなので、練習でも真剣そのもの。同じチーム同士で声を掛け合い、札を取った時は床を叩いてアピール、子ども達の気迫が伝わってきます。

別海中央百人一首少年団



「子ども達が、練習や大会ごとに上達していく姿は見ていて楽しい。かるたが好きなきな子どもがもつと集まり、大会でも上位を目指せるようになれば」と事務局の安達さん。
3月には中央公民館で町内大会(9日)と管内大会(2日)、鶴居村で釧根大会(16日)が行われます。
子ども達の熱戦が繰り広げられる大会に、ぜひ足を運び、応援していただきたいと思っています。

紹介

◇別海中央百人一首少年団◇

- ・代表 酒井 綾(父母の会会長)
- ・主な活動 下の句かるたの練習、町内・管内大会等への出場
- ・練習場所 別海中央小学校、中央公民館
- ・練習日 週3回(十月〜三月)
- ・会員数 9名

クラブ紹介

書の研究 別海書道教室

『美文字』目指して!



「書の研究」は、現在小中学生26名が所属し、毎週土曜日に中央公民館で習字を学んでいます。

毎回の教室では、先生のお手本を見ながら、硬筆・毛筆の課題を練習します。上達していくと段(級)位が上がり、最も高い段位は「学生名人」だそうです。毎年、地域文化祭や書初め展へ出展しており、書初め展では今年も何人もが入賞しました。

そのほかにも中央公民館のギャラリー・展や、札幌で開催される全道のコンクール・書道展へ出展しています。
教室の風景は、リラックスした雰囲気ながらも、集中して一枚一枚書き上げる姿がありました。パソコンやスマートフォンの発達により、字を書く機会が少なくなっている今、字を上手に書けるように努力する「書の研究」の皆さんはいつそう輝いて見えました。

クラブ紹介

◇書の研究◇

- ・代表 阿部 美嘉
- ・主な活動 地域作品展、全道コンクール等
- ・練習場所 中央公民館
- ・練習日 毎週土曜日
- ・会員数 26名

